

## 第3回高松市総合計画審議会

日時：平成27年10月10日（土） 午後6時30分～

場所：市役所13階 大会議室

### 次 第

1 開会

2 議題

(1) 第6次高松市総合計画（仮称）基本構想答申（案）について

(2) その他

3 閉会

## 答申（素案）

高松市では、少子・高齢化社会の到来が予測される中、持続可能なまちづくりに取り組むため、平成17年度に近隣6町と合併して10年が経過しました。そして、市内44のそれぞれの地域で、地域コミュニティを軸とした個性あるまちづくりが進められているところです。

しかし、国際社会の急激な進展に伴い、地域に関係なく、グローバル化、ボーダーレス化が進む一方、国内では、これまで何度も、地方分権が言われ続けてきましたが、三大都市圏への人口集中は依然として改善されないまま、今日に至っています。

ところで、国においては、まち・ひと・しごと創生法を制定し、地方の成長力を取り戻し、人口減少を克服するため、国と地方が総力を挙げて取り組むこととしています。

高松市においても、本年度、「たかまつ創生総合戦略」を策定しています。

このような中、当審議会が諮問を受けた第6次高松市総合計画（仮称）基本構想案は、高松市の最上位計画として、市民生活の将来展望を示す目指すべき将来像とまちづくりの目標をお示しするもので、今後、人口減少、少子・超高齢社会にあっても、持続可能な人口の維持と生活基盤の形成に、市民・行政が一体となって取り組んでいかななくてはなりません。

当審議会においては、高松市の人口減少、少子・高齢化の現状及び今後の予測を踏まえ、高松らしい取組を基本構想案にも反映させて、総合計画の推進が活力ある市政運営の維持に効果を発揮するよう、審議を重ねてまいりました。

その結果、今回の基本構想案においては、目指すべき都市像とそれを実現していくためのまちづくりの目標、具体的な政策、施策、取組方針までが文章化されており、市民誰もがわかりやすく、また、その方向性が概ねまとまっているものと認め、ここに答申するものです。

なお、審議の過程において提出された多くの意見、要望を基に、当審議会の総意として、次の点について、意見を付すことにより、総合計画の施策の推進に当たり、市民と行政がともに同じ目標に向かって効果的に取り組めるよう、これらの意見を十分に尊重されるよう強く要望します。

**総括**

高松市は、これまで瀬戸内海を介して発展し、文化芸術活動を始めとした創造都市の推進により、訪れた人々との交流を活発に行ってきたところであるが、これからも、合併による広範な市域の豊かな資源と人を生かして市民主体のまちづくりを推進するため、目指すべき都市像である「活力にあふれ 創造性豊かな 瀬戸の都・高松」の実現を図られたい。

市民一人一人が、豊かな市民生活を送ることができるよう、子ども、女性、若者、高齢者など、それぞれの視点を大切にしたまちづくりの取組を進められたい。

豊かな自然環境と、経済を牽引する都市機能をあわせ持つ高松市の特性を生かして、人と物と情報が行き交い、新たな経済活動が生まれてくるようなまちづくりを進められたい。

自然災害や交通事故を始めとした人為的な災害を未然に防止し、被害を最小限にできるように、市民が安心して暮らせるまちづくりを進められたい。

環瀬戸内海圏における高松市の拠点性を高めるだけでなく、常に広域的な視野を持ち、近隣市町のけん引役としての役割が果たせるようなまちづくりを進められたい。

市民の積極的な関わりにより各地域コミュニティの活性化が図られるよう、自治の基本理念に基づく、市民主体のまちづくりへの支援を進められたい。

「たかまつ創生総合戦略の推進」、「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の形成」、「多核連携型コンパクト・エコシティの推進」に、特に積極的に取り組み、人口減少、少子・超高齢社会への対応を進められたい。

**まちづくりの目標1 健やかにいきいきと暮らせるまち**

- 1 まちづくり全般にわたり、子ども、高齢者、障がいを持った人、介護をしている人など、地域で暮らしている全ての人が、してもらうのではなく、自分の力を十分に発揮できるまちづくりに取り組まれたい。
- 2 そうしたまちの実現のために、自分たちの暮らしている地域や居場所、そして人と人を

つなぐことのできるコーディネーターの育成に取り組むとともに、様々な人が自由に集まれる居場所づくりに取り組まれない。

- 3 市民みんなを受け入れる社会の形成や意識改革などに取り組むとともに、健康、福祉、教育など様々な分野において、今まであって今はない大切なもの、例えば、世代間交流などは、積極的に作り、みんなで子育てができる環境づくりに取り組まれない。

また、成功例など、今できていることの情報発信に努め、ネットワークづくりに努められたい。

## **まちづくりの目標2 心豊かで未来を築く人を育むまち**

- 1 施策の構成として、従来の構成を変え、「男女共同参画社会の形成」を1番に位置付けるのであれば、その理由を分かりやすく説明していただきたい。また、重点的に取り組むに当たっては、男女共同参画社会の形成が実現できるよう、高松らしい取組を盛り込むなど施策を充実していただきたい。
- 2 社会を生き抜く力を育む教育の充実のためには、学校教育の充実はもとより、家庭及び地域における教育力の向上も重要である。地方創生の取組を進める上で地域における活動は重要であるが、高松市においては、地域コミュニティを中心に子育て・教育を支えており、この点について触れられたい。
- 3 生涯学習の推進においては、学びたい意欲を持つ高齢者や働くことを希望する女性の希望に応えるためのリカレント教育の充実に取り組み、地域で活躍してもらえ人材の育成につなげていただきたい。

## **まちづくりの目標3 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち**

- 1 高松の魅力のひとつに、海や山が多く自然が近いということがある。また、スポーツには、競技スポーツのほか、自然の中で家族でも楽しめるような身近なスポーツもある。施策として「スポーツの振興」があるが、高松の魅力を生かしたスポーツも包含していることが分かるよう「スポーツ・レクリエーションの振興」とすることを検討されたい。

- 2 地元の産品を海外に売り込む必要がある。そのためには、産品を売りたい人と買いたい人を結びつけるマッチングをする仕組みづくりと売り込んでいく人材育成が重要である。今後、海外での行事で産品を売り込む機会があれば、それを逃さないようにする必要もあることから、海外マーケットへの販路拡大について施策に組み込む等、積極的に取り組まれない。
- 3 企業誘致を進めるだけでなく、市内にある企業の事業拡大や若い人が創業しやすい環境づくりをすることも重要である。そのためには、文化・芸術と何かを結びつけるなど、様々なものを複合的に考えていく必要がある。そのような視点で新しいビジネスを生み出すよう取り組まれない。

#### **まちづくりの目標4 安全で安心して暮らし続けられるまち**

- 1 安全で安心して暮らせる社会環境の形成のため、救急車の適正利用、交通安全、防犯等についての啓発、国・県との災害時の連携強化と連絡体制の構築について、近年の状況を加味した取組を進められたい。
- 2 環境と共生する持続可能な循環型社会の形成のため、リユースなど廃棄物の減量化や、今後、設備の技術向上が見込まれる再生可能エネルギーの更なる普及に向けた取組を推進されたい。  
また、次世代を担う子どもたちへの環境教育を特に重点的に行うよう努められたい。
- 3 豊かな暮らしを支える生活環境の向上のため、国・県との役割分担を適切に行い、過不足のない道路、公園、防災施設等の社会基盤の整備を実施されたい。安全な水道水の供給や、汚水処理普及率向上に努められたい。

#### **まちづくりの目標5 環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち**

- 1 市民がいきいきと暮らせる、コンパクトで持続可能なまちづくりを推進するに当たり、都市機能の集積と市街地の拡大抑制という理念に基づいて進めていくべきと考えられるため、長期的な視点を持って、具体的で効果的な規制・誘導策を検討し、取組を進めら

りたい。

また、コンパクト・エコシティの拠点内外を問わず、その地域の特性に応じた、活性化を進めるとともに、多核連携型コンパクト・エコシティの理念を周知・啓発し、浸透するよう工夫されたい。

- 2 コンパクト・エコシティによる適正な土地利用の推進は、短期間では、なしえないことから、長期的なビジョンの下、土地利活用の動向に対しても、具体的な方策を検討されたい。
- 3 今後の超高齢社会に対応し、自動車に依存しないライフスタイルを実現するため、公共交通機関と電動車いすなどの交通手段も視野に入れて、まちづくりが展開できるよう、市民を始め交通事業者などの関係者の理解と協力を得て、将来を見据えた本市にふさわしい交通体系の構築に検討されたい。

#### **まちづくりの目標6 市民と行政がともに力を発揮できるまち**

- 1 他市や海外の事例なども参考に、コミュニティの活性化に資する事業に取り組むとともに、その成功事例などを、なぜ成功しているのかといった観点も含めて、積極的に情報発信し、情報共有に努められたい。
- 2 市役所職員が、協働の推進としてさらに積極的に地域に出向くなど、市民と行政が一体となった地域づくりに取り組むとともに、今後、より住民が主体となったまちづくりが推進できるよう、地域のリーダーとなる人材の発掘や育成にも努められたい。

第6次高松市総合計画(仮称)における成果指標(案)

NO	まちづくりの目標	政策名	施策名	成果指標名	指標の説明	単位	現況値	目標値(H31)	目標値(H35)	目標の方向性	目標値設定の考え方	指標の出典等(分野別計画等)	第5次成果指標案	総合戦略	同じ○ 変更△
1	健やかにいきいきと暮らせるまち	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実	(111)子どもの成長への支援	1歳6か月児健康診査受診率	1歳6か月児健康診査対象者のうち受診した割合	%	91.8	93.0	95.0	↗	高松市健康都市推進ビジョンに掲げる目標値。	高松市健康都市推進ビジョン	生後4か月までの全戸訪問(こんにちは赤ちゃん事業)実施率	○	
2			(111)子どもの成長への支援	認定こども園数	教育・保育施設のうち認定こども園の施設数	施設数	1	12	12	↗	高松市子ども・子育て支援推進計画に掲げる目標値	高松市子ども・子育て支援推進計画	ブックスタート実施率	○	
3			(111)子どもの成長への支援	自立支援プログラム策定者の就職率	母子・父子自立支援プログラム策定者のうち就職に至った割合	%	78.3	85	90	↗	過去三年間(H24~H26)の平均値から算定	高松市子ども・子育て支援推進計画(母子・父子自立支援プログラム策定等事業の実施についての通知)	自立支援プログラム利用による就労件数	○	△
4	健やかにいきいきと暮らせるまち	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実	(112)子育て家庭への支援	子育て支援拠点施設設置割合	教育・保育提供区域のうち、子育て支援拠点施設ができていない割合	%	100	100	100	↗	高松市子ども・子育て支援推進計画では、本市の拠点数は、国の「子ども・子育てビジョン」の数値目標(中学校区に1つ=23か所)を達成していることから、当面は現有施設31か所の利用促進を図る。」としていることから、現状維持とする。	高松市子ども・子育て支援推進計画	地域子育て支援拠点事業(ひろば型)利用者数(旧つどの広場事業)	○	
5			(112)子育て家庭への支援	放課後児童クラブ入会率	放課後児童クラブ利用申込者のうち入会した割合	%	96	100	100	↗	待機児童解消による数値	高松市子ども・子育て支援推進計画	放課後子ども教室登録児童数		△
6			(112)子育て家庭への支援	保育施設待機児童数	4月1日現在の保育施設待機児童数	人	129 (H27.4.1現在)	0	0	↗	高松市子ども・子育て支援推進計画に掲げる目標値	高松市子ども・子育て支援推進計画	ファミリー・サポート・センター事業利用件数	○	
7		支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成	(121)地域福祉の推進	民生委員・児童委員の充足率	条例で定める民生委員・児童委員の定数の充足割合	%	98.4	100.0	100.0	↗	民生委員の定数については、国の配置基準や地域の要望を参酌して、条例で定めているため、充足割合は100%が基本である。	国の配置基準	災害時援護者台帳登録候補者の登録率【H23設定】		
8	健やかにいきいきと暮らせるまち		(121)地域福祉の推進	指導監査における文書指摘がない社会福祉法人等の割合	指導監査を行う社会福祉法人及び社会福祉施設のうち文書指摘がない法人・施設の割合	%	60.6	65.0	70.0	↗	8年間で指導監査を行った法人・施設のうちの1割増をめざす。	なし	災害時援護者台帳登録候補者の新規登録率【H25設定】		
9	健やかにいきいきと暮らせるまち	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成	(122)地域包括ケアシステムの構築	要介護者の在宅比率	在宅(介護保険3施設、認知症対応型共同生活介護、介護専用型特定施設入所者を除く)での要介護認定者の割合	%	78.7	78.3	79.2	↗	介護や医療が必要となってもサービスを受けながら希望する場所で暮らせる人の割合が現状維持又は増加を目指す	なし ※介護保険3施設…特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養病床等 ※認知症対応型共同生活介護…グループホーム	シルバー人材センターの会員数	○	
10			(122)地域包括ケアシステムの構築	自立高齢者率	介護・支援を必要としない65歳以上の高齢者の割合	%	78.9	76.4	74.6	↗	第6期高松市高齢者保健福祉計画から試算	第6期高松市高齢者保健福祉計画			

※の記載の仕方について  
指標の注釈は、欄外に記載する。

第6次高松市総合計画(仮称)における成果指標(案)

NO	まちづくりの目標	政策名	施策名	成果指標名	指標の説明	単位	現況値	目標値(H31)	目標値(H35)	目標の方向性	目標値設定の考え方	指標の出典等(分野別計画等)	第5次成果指標案	総合戦略	同じ○ 変更△
11			(122)地域包括ケアシステムの構築	自立後期高齢者率	介護・支援を必要としない75歳以上の高齢者の割合	%	61.6	57.5	57.3	↗	第6期高松市高齢者保健福祉計画から試算	第6期高松市高齢者保健福祉計画			
12	健やかにいきいきと暮らせるまち	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成	(123)障がい者の自立支援と社会参加の促進	施設入所者の地域生活への移行者数	障害者支援施設から持ち家、賃貸住宅、グループホーム等へ移行した障がい者数	人	18	63	99	↗	国の障害福祉計画策定における基本指針に基づく(平成25年度末時点の施設入所者の12%以上が平成29年度末までに地域生活に移行)	たかまつ障害者プラン(H27~29)	①訪問系サービス利用量		
13			(123)障がい者の自立支援と社会参加の促進	福祉施設から一般就労への移行者数	就労系障害福祉サービス事業所から一般就労へ移行した障がい者数	人	40	54	54	↗	国の障害福祉計画策定における基本指針に基づく(平成29年度の一般就労への移行実績を平成24年度実績の2倍以上)	たかまつ障害者プラン(H27~29)	②移動支援事業利用量 ③日中活動系サービス利用量		
14	健やかにいきいきと暮らせるまち	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成	(124)生活困窮者等への自立支援	勤労収入の増加による生活保護廃止率	生活保護廃止世帯数に占める勤労収入の増加による廃止世帯数の割合	%	16.9	21.0	22.0	↗	過去4年間(平成23~26年度)で最も割合が高かった25年度(20.6%)と同水準を保つことを目指す。	全国被保護者調査	対象者に対する自立達成者数の割合		
15			(124)生活困窮者等への自立支援	支援プラン策定率	自立相談支援センターたかまつでの新規相談受付件数に占める支援プラン策定割合	%	10.4	30.0	50.0	↗	生活困窮者自立支援制度におけるPDCAサイクルの実施において、本制度が新しい全国制度であること等から、国としての目安値(50%)が示されている。	生活困窮者自立支援制度における支援状況調査			
16	健やかにいきいきと暮らせるまち	健康で元気に暮らせる環境づくり	(131)健康づくりの推進	介護保険の要介護2~5の認定率	65歳以上で、介護保険の要介護2~5の認定者の割合	%	11.1	11.1	11.1	↘	健康寿命の延伸につなげるため、健康づくりの意識啓発や実践に取り組み、現在の要介護2~5の認定率の維持に努める。	なし (高松市介護保険認定者数)			
17			(131)健康づくりの推進	がん検診受診率	本市が行うがん検診を受診した市民の割合	%	24.9	50.0	50.0	↗	国の目標値に準じて、がん検診の受診者向上に向けた取組を行う。	高松市健康都市推進ビジョン 高松市がん検診受診者状況	がん検診受診率	○	○
18			(131)健康づくりの推進	内臓脂肪症候群該当者出現率(国保ベース)	特定健康診査受診者に占める内臓脂肪症候群該当者の割合	%	20.3	13.7	13.7	↘	H20から25%減少(実数)	高松市健康都市推進ビジョン 国の目標値に準じる	食育に関心を持っている人の割合		

第6次高松市総合計画(仮称)における成果指標(案)

NO	まちづくりの目標	政策名	施策名	成果指標名	指標の説明	単位	現況値	目標値(H31)	目標値(H35)	目標の方向性	目標値設定の考え方	指標の出典等(分野別計画等)	第5次成果指標案	総合戦略	同じ○ 変更△
19	健やかにいきいきと暮らせるまち	健康で元気に暮らせる環境づくり	(132)医療体制の充実	立入検査違反率	立入検査を行った医療施設のうち、違反が認められた医療施設の割合	%	51.8	45.3	40.1	↓	医療機関の水準を保つことを目指すもの。8年間で、立ち入り検査を行った施設のうち1割減を目指す。病院は毎年、有床は3年毎、無床の病院は、5年毎(実際は6年になることも)基準はなく、少ない方がいい。	厚労省には、病院の医療監視の状況の報告あり。	定例立入検査時の法令違反医療施設数		○
20			(132)医療体制の充実	地域医療機関からの紹介率	市民病院に地域の医療機関から患者を紹介された割合	%	57	60.0	60.0	↑	地域医療支援病院としての施設基準を満たすとともに、更なる紹介率の向上に努める。(国の目標紹介率50%、逆紹介率70%はクリア)	高松市病院事業経営健全化計画			
21			(132)医療体制の充実	地域医療機関からの逆紹介率	市民病院が地域の医療機関に患者を紹介した割合	%	83	85.0	85.0	↑	地域医療支援病院としての施設基準を満たすとともに、更なる紹介率の向上に努める。(国の目標紹介率50%、逆紹介率70%はクリア)	高松市病院事業経営健全化計画			
22	健やかにいきいきと暮らせるまち	健康で元気に暮らせる環境づくり	(133)社会保障制度の適切な運営	国民健康保険の被保険者1人当たりの保険給付費	保険給付費を国民健康保険の被保険者数で割った数	円	335,817	10月中旬に設定予定	10月中旬に設定予定	↓	保険給付費適正化計画より…5億円の医療費抑制をした場合→1%減のため、医療費の伸び率3%→2%で医療費を算出。(別紙参照)	分野別計画等での指標設定なし ※ 実績額に基づく			
23			(133)社会保障制度の適切な運営	介護保険サービス利用率	要介護(要支援)認定者に占める介護保険利用者の割合(いずれも2号被保険者含む)	%	83.2	83.7	84.2	↑	要介護・要支援認定を真に必要なとする介護サービスにつなげるため、緊急性がなく過剰な認定を減少させることを目指し、増加指標としている。毎月費用額は算出。	日本福祉大学介護保険事業分析システムによる実績分析報告書	介護サービス利用者数		
24			(133)社会保障制度の適切な運営	1人当たり介護サービス費用額	介護保険サービス利用者1人当たりの介護給付費費用額(いずれも2号被保険者含む)	円	146,900	146,900	146,900	↓	現状維持を目指す考え方	分野別計画等での指標設定なし ※ 実績額に基づく			
25	心豊かで未来を築く人を育むまち	男女共同参画社会の形成	(211)男女共同参画の推進	審議会等における女性委員の割合	本市審議会等における女性委員の割合	%	38.0	42.0	44.0	↑	目標40%をめざし更に上を目指す	第4次たかまつ男女共同参画プラン	審議会等における女性委員の割合		○
26			(211)男女共同参画の推進	女性従業員の割合	全従業員に占める女性従業員の割合	%	-	50.0	50.0	↑	女性の従業員数は、増加傾向。10月実施アンケートの結果から目標値の再設定をする予定。	第4次たかまつ男女共同参画プラン	男は仕事、女は家庭という考え方に同感する市民意識の割合		

(H26)国: 44.8%, 県: 50%、(H22)国: 44.9%、県46.2%以前から国より県は高かった

第6次高松市総合計画(仮称)における成果指標(案)

NO	まちづくりの目標	政策名	施策名	成果指標名	指標の説明	単位	現況値	目標値(H31)	目標値(H35)	目標の方向性	目標値設定の考え方	指標の出典等(分野別計画等)	第5次成果指標案	総合戦略	同じ○ 変更△
27			(211)男女共同参画の推進	男性の育児休業者がいた事業所の割合	アンケートを実施した事業所のうち、男性の育児休業者がいた事業所の割合	%	-	4.2	4.2	↗	配偶者が出産した男性がいた事業所に占める男性の育児休業者がいた事業所の割合。(国:4.2%)を参考に、アンケートの実態を加味して調整をする。国は、昨年度から0.8ポイント上昇。	第4次たかまつ男女共同参画プラン		○	
						<div style="border: 1px solid blue; background-color: #e0f0ff; padding: 5px;">                     国の事業者割合:4.2%                      産業振興課アンケートを、10月上旬発想、11/13〆切。集計結果は11月末の予定。13日時点で速報値確認し、目標値の修正をする予定。                 </div>									
28	心豊かで未来を築く人を育むまち	社会を生き抜く力を育む教育の充実	(221)学校教育の充実	学校評価平均評価得点(確かな学力の育成に関する事)	各校の評価得点(最高値4点、最低値1点)の平均点	点	3.16	3.2	3.5	↗	学校教育は知・徳・体の3本柱により成り立っている。徳は心であるので、評価が困難であるが、知力、体力は数値化した評価が可能であり、評価項目として好ましいと考えられる。	学校教育課HP次期教育振興基本計画	①教職員研修参加者数	○	
29			(221)学校教育の充実	学校評価平均評価得点(体力・運動能力の育成に関する事)	各校の評価得点(最高値4点、最低値1点)の平均点	点	-	3.2	3.5	↗	学校教育は知・徳・体の3本柱により成り立っている。徳は心であるので、評価が困難であるが、知力、体力は数値化した評価が可能であり、評価項目として好ましいと考えられる。	学校教育課HP次期教育振興基本計画	②不登校児童生徒の学校復帰率 ③生鮮野菜・果物の県産使用割合	○	
30	心豊かで未来を築く人を育むまち	社会を生き抜く力を育む教育の充実	(222)学校教育環境の整備	学校施設長寿命化整備の進捗率	「学校施設整備計画(仮称)」に基づく平成35年度末の長寿命化整備工事計画棟数を100とした場合の進捗率	%	-	20	100	↗	平成29年度に策定予定の学校施設の整備計画を踏まえた目標設定としている。 (施策シートの見直しまでに、もう少し具体的な数値設定ができる予定である。)	次期教育振興基本計画	①幼稚園施設耐震化率		
31			(222)学校教育環境の整備	教育用PCのうち、タブレット端末の配置割合	教育用PCのうち(PC教室除く)、タブレット端末の配置割合	%	11.2	30.0	50.0	↗	TENS環境における、同時使用が可能なタブレット端末の台数が50%程度である。	次期教育振興基本計画	②小・中学校施設耐震化率 ③高松第一高等学校施設耐震化率		
32	心豊かで未来を築く人を育むまち	社会を生き抜く力を育む教育の充実	(223)子どもの安全確保	子ども人口1,000人当たりの不審者情報メール配信先数	15歳未満の子ども人口1,000人当たりの不審者情報メールを配信した相手先の件数	件	7.6	8.4	9.1	↗	メール不達によるアドレス整理(削除)も行っているため、毎年の確実な伸びは見込めないが、地域の会での積極的な呼びかけにより、新規登録が微増しているため、26年度維持より多少プラスとした。	高松市不審者情報提供(メール配信)	不審者情報メール1次配信先数(市立学校・幼稚園・保育所、市PTA連絡協議会など)		△

第6次高松市総合計画(仮称)における成果指標(案)

NO	まちづくりの目標	政策名	施策名	成果指標名	指標の説明	単位	現況値	目標値(H31)	目標値(H35)	目標の方向性	目標値設定の考え方	指標の出典等(分野別計画等)	第5次成果指標案	総合戦略	同じ○ 変更△
33			(223)子どもの安全確保	通学路合同点検計画における達成率	高松市通学路安全プログラムにおける通学路合同点検の計画目標値に対する達成割合	%	64.0	84.0	100.0	↗	高松市通学路交通安全プログラム点検計画において、毎年5校ずつ実施する。	高松市通学路交通安全プログラム			
34	心豊かで未来を築く人を育むまち	社会を生き抜く力を育む教育の充実	(224)青少年の健全育成	子ども会加入率	本市における児童のうち、子ども会会員となっている児童の割合	%	60.8	61.0	62.0	↗	26～31年度まで、平均0.35上昇すること、32年度以降、毎年、0.2ポイントの上昇を目指すこととした。	他の計画等への登載なし。加入率は、わずかながらの微増傾向にある。			
35			(224)青少年の健全育成	少年人口1,000人当たりの補導人数	5～19歳の少年人口1,000人当たりの少年育成センター・少年育成委員・高松地域生徒指導推進協議会等による補導活動で補導された人数	人	21.0	18.7	17.1	↘	ここ数年の遞減率を参考にするとともに、新たな方策による減を見込んだ数値とした。	少年育成センターによる統計	未成年者千人あたりの不良行為少年の補導人数(高松4警察署管内)		○
36	心豊かで未来を築く人を育むまち	社会を生き抜く力を育む教育の充実	(225)家庭・地域の教育力の向上	地域交流事業を実施している割合	子どもを中心とした地域交流事業を実施している地域の割合	%	-	91	100	↗	新規の補助金交付件数は、H27～31年度まで、毎年8団体、32年度は4団体を予定している。	次期教育振興基本計画	家庭教育学級延受講者数		○
37			(225)家庭・地域の教育力の向上	朝ごはん摂取率	全国学力学習状況調査において、朝ごはんを毎日摂取している小学校6年生の割合	%	87.1	89.0	91.0	↗	26年度以降、毎年0.4ポイントの上昇を目指す。	出典：全国学力状況調査 同じ指標・目標を、教育振興基本計画にも登載予定	朝ごはんを食べている子どもの割合(小学6年生)		○
38	心豊かで未来を築く人を育むまち	社会を生き抜く力を育む教育の充実	(226)大学等高等教育の充実	包括協定を結んでいる大学等の学生・生徒の充足率	包括協定を結んでいる大学等の定員に対する学生・生徒数の割合	%	91.0	92	93	↗	高等教育機関への入学者数が減少していることから、1%増を目指す。	5月1日現在各大学等が、HPで公表している実数(学校基本調査の数)	大学等との連携・協力事業数【H23設定】		○
39			(226)大学等高等教育の充実	包括協定を結んでいる大学等入学生の市内出身者割合	包括協定を結んでいる大学・短大・高等専門学校等における市内出身者割合	%	23.7	24	25	↗	県内出身者45.9%(H27)の5割を目指す。	大学の入学状況調査から(政策課調査による)			
40	心豊かで未来を築く人を育むまち	心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成	(231)生涯学習の推進	まなびCAN及びコミュニティセンターの講座の参加者数等	まなびCANの来館者数+コミュニティセンター講座(女性教室、家庭教育学級を除く)の延参加者数	人	609,561	625,000	637,000	↗	26年度を基準に毎年0.5%ずつ増加 31年度 2.5%増 35年度 4.5%増	分野別計画等での設定なし ※ 分野別計画は、アンケート調査結果 ※ 実測値	生涯学習をしている人の割合		
41			(231)生涯学習の推進	市民1人当たりの図書館図書の貸出冊数	本市の人口1人当たりの図書館の図書の年間貸出冊数	冊	6.4	8.0	8.2	↗	H31年度目標値を高松市生涯学習基本計画に掲げる目標値とし、H35目標値はそれを2%程度上回るものとした。	高松市生涯学習基本計画 統計資料=図書館要覧	市民1人当たり貸出冊数		○

第6次高松市総合計画(仮称)における成果指標(案)

NO	まちづくりの目標	政策名	施策名	成果指標名	指標の説明	単位	現況値	目標値(H31)	目標値(H35)	目標の方向性	目標値設定の考え方	指標の出典等(分野別計画等)	第5次成果指標案	総合戦略	同じ○ 変更△
42	心豊かで未来を築く人を育むまち	基本的人権を尊重する社会の確立	(241)人権尊重意識の普及・高揚	人権啓発事業等参加者数	人権教育市民講座参加者、みんなで人権を考える会、人権啓発推進員による啓発事業及び人権啓発講演会への参加者数	人	11,895	13,400	14,000	↗	過去5年間の平均増加率又は平成26年度実績から算定 平成26年度から増加することを目指す。	なし	①文化センター(隣保館)・児童館利用者数【H23設定】 ②人権啓発事業等参加人数【H23設定】		○
43	心豊かで未来を築く人を育むまち	基本的人権を尊重する社会の確立	(242)平和意識の普及・高揚	平和意識の啓発に関するイベントなどの参加者数	市が主催する平和啓発に関するイベントなどの参加者数	人	7,823	8,000	8,250	↗	平成26年度から増加することを目指す。	なし	①平和記念室入館者数 ②平和意識の啓発に関するイベントなどの参加者数【H25設定】		○
44	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	地域を支える産業の振興と経済の活性化	(311)商工業の振興	創業者数	高松市創業支援事業計画に掲載された各連携機関から支援を受け創業した事業数	人	-	調整中		↗				○	
45			(311)商工業の振興	中央商店街の空き店舗率	中央商店街における店舗のうち、空き店舗が占める割合	%	17.2	14.9	14.9	↗	中心市街地活性化基本計画に掲げる目標値	中心市街地活性化基本計画	中央商店街の空き店舗率	○	○
46			(311)商工業の振興	企業誘致助成制度指定件数	企業誘致助成制度の指定件数(H21年度以降の累計指定件数)	件	30	55	75	↗	毎年5件の増を目指す。	分野別計画等での目標設定なし ※実測値	中心市街地の小売業年間商品販売額	○	
47	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	地域を支える産業の振興と経済の活性化	(312)農林水産業の振興	認定農業者数	本市が認定した認定農業者数	経営体	311	320	320	↗	過去5年間(平成21~26年度)平均増数から算定 平成31年度と同水準を保つことを目指す	課把握数値	重要稚仔放流数(栽培漁業種:クルマエビ、ヒラメ、ガザミ)	○	
48			(312)農林水産業の振興	高松市内の農畜産物販売金額(JA取扱金額に限る)	市内の農畜産物販売金額(JA取扱金額に限る)	億円	38.2	38.2	38.2	↗	現状維持を目指す。	高松市農業振興計画	農産物の販売額		○
49			(312)農林水産業の振興	卸売市場の取扱金額	青果、水産物及び花きの取扱金額	億円	323	323	323	↗	現状維持を目指す。(現状は低下傾向)	分野別計画等での目標設定なし 市長マニフェストに同指標・同目的 ※実測値	森林施業計画面積	○	
50	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	地域を支える産業の振興と経済の活性化	(313)特産品の育成・振興とブランド力の向上	販路開拓事業等来場者数	販路開拓事業等の来場者数	人	17,600	20,600	23,000	↗	年600人の増を目指す。	分野別計画等での目標設定なし ※実測値	高松ブランドの認定数	○	
51			(313)特産品の育成・振興とブランド力の向上	盆栽輸出登録申請事業者数(EU)	農林水産省神戸植物防疫所坂出支所に申請があった数	人	19	24	26	↗	H31までは、およそ年1件の増、H31以降は、年2件の増を目指す。	分野別計画等での目標設定なし ※実測値			

第6次高松市総合計画(仮称)における成果指標(案)

NO	まちづくりの目標	政策名	施策名	成果指標名	指標の説明	単位	現況値	目標値(H31)	目標値(H35)	目標の方向性	目標値設定の考え方	指標の出典等(分野別計画等)	第5次成果指標案	総合戦略	同じ○ 変更△
52			(313)特産品の育成・振興とブランド力の向上	伝統的ものづくり普及啓発事業等参加者数	伝統的ものづくり親子体験教室や巡回教室等の参加者数	人	515	800	1,000	↗	年50件の増を目指す	分野別計画等での目標設定なし ※実測値			
53	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	地域を支える産業の振興と経済の活性化	(314)就業環境の充実	子育て支援中小企業等表彰事業の表彰事業者延べ数	子育て支援中小企業等表彰事業の表彰事業者の延べ団体数	団体	56	81	101	↗	年5団体の表彰を目指す。	分野別計画等での目標設定なし ※実測値 ※男女共同参画プランに同じ指標を設定	子育て支援中小企業表彰企業数	○	△
54			(314)就業環境の充実	就活応援・適職相談事業来場者数	就活応援・適職相談事業への来場者数	人	384	480	560	↗	年20人の増を目指す。	分野別計画等での目標設定なし ※実測値 ※高松市生涯学習基本計画に同じ指標を設定			
55	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	文化芸術の振興と発信	(321)文化芸術の振興	文化芸術ホールにおける事業の参加者数	文化芸術ホールにおいて開催される全事業の参加者数	人	215,293	226,000	236,000	↗	これまでの実績を基に、毎年2,500人増を目指す。	実測値(分野別計画での進行管理なし) ※自主事業(主催事業、共催事業、受託事業等)+ホール貸館事業(大ホール、第1小ホール、第2小ホール)の参加者・観客者数	デリバリーアーツ事業鑑賞者数		
56			(321)文化芸術の振興	アウトリーチ事業の参加者数	地域に出向いての文化芸術活動(アウトリーチ事業)の参加者数	人	67,757	75,000	85,000	↗	これまでの実績を基に、毎年2,500人増を目指す。 ※主に、まちなかパフォーマンス事業(現在、毎年5,000人程度増加している。今後は、伸びが安定化すると、年2,500人増)。また、0歳からのコンサート事業は、今後、規模の拡大を検討中。	実測値(分野別計画での進行管理なし) ※デリバリーアーツ事業、学校巡回芸術教室、学校巡回音楽教室、まちなかパフォーマンス事業、0歳からのコンサート事業の参加者数		○	
57			(321)文化芸術の振興	美術館来館者数	高松市美術館及び塩江美術館の展覧会観覧者、イベント参加者、講座室利用者等合計人数	人	128,057	164,000	174,000	↗	リニューアルオープン年度(H28)の目標値を156,500人と設定。その後は、毎年2,500人増を目指す。	実測値(分野別計画での進行管理なし)	高松市美術館の展覧会観覧者数		○
58			(322)文化財の保存・活用	歴史資料館等利用人数	歴史資料館・石の民俗資料館・香南歴史民俗郷土館・讃岐国分寺跡資料館の利用人数	人	137,486	145,000	145,000	↗	現状値より5%程度31年までに引き上げるが、その後は少子化等の影響を考慮し原状維持とする。	市政概況			
59	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	文化芸術の振興と発信	(322)文化財の保存・活用	文化財学習会・体験講座参加者数	ふるさと探訪等文化財学習会・体験講座の参加者数	人	1,241	1,300	1,400	↗	現在の参加者の年齢層を拡充することを目標に、35年度までに1割程度の増加を目指す。	なし	ふるさと探訪等文化財学習会の参加者数		○

第6次高松市総合計画(仮称)における成果指標(案)

NO	まちづくりの目標	政策名	施策名	成果指標名	指標の説明	単位	現況値	目標値(H31)	目標値(H35)	目標の方向性	目標値設定の考え方	指標の出典等(分野別計画等)	第5次成果指標案	総合戦略	同じ○ 変更△
60	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	元気を生み出すスポーツの振興	(331)スポーツの振興	社会体育施設利用者数	社会体育施設の延べ利用者数	人	1,685,437	1,930,000	2,175,000	↗	H20実績(1,390,000人)とH26実績(1,685,000人)の増加率から計算	高松市スポーツ振興基本計画	社会体育施設の利用者数	○	○
61			(331)スポーツの振興	トップスポーツチーム試合観戦者数(人)	トップスポーツ4チームのホームゲーム観戦者数	人	124,000	154,500	179,200	↗	4チームの県内観客合計値(H26:123,500人)と、H24~H26伸び率(107.9%)を基に、毎年6,200人の伸びと仮定	なし ※各チームのホームページ発表数から集計	総合型地域スポーツクラブ数		
62			(331)スポーツの振興	トップスポーツ4チームの後援会等会員(高松市民)数	各チームにおける後援会やクラブの会員(個人)のうち、高松市民を抽出した会員数	人	952	1,300	1,600	↗	25年度と26年度の4チームホームゲーム平均入場者数の前年対比109%を基に、次のとおり算出した。 現状値×(1+0.9×目標年度までの年数)	チームからの情報提供		○	
63	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	訪れたい観光・MICEの振興	(341)観光客受入環境の整備	観光施設等利用者数	高松市内の主な観光施設等利用者数	千人	6,396	6,460	6,520	↗	4年間で約1%ずつ施設利用者の増加を目指す。	香川県報告 ※分野別計画等の目標値は、総合計画に合わせる。	主要観光地の入込み客数	○	○
64			(341)観光客受入環境の整備	香川県への再来訪意向割合	香川県観光客動態調査報告の「香川県への再来訪意向」におけるぜひ来たいの割合	%	57.5	58.8	60	↗	4年間で約1%ずつ「ぜひ来たい」の割合を増やす。	香川県報告 ※分野別計画等の目標値は、総合計画に合わせる。	主要イベント入込み客数		
65	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	訪れたい観光・MICEの振興	(342)観光客誘致の推進	まつり・イベント入込み客数	観光イベント振興事業補助対象事業入込客数	千人	1,011	1,020	1,030	↗	4年間で約10,000人ずつ入込客数の増加を目指す。	香川県報告 ※分野別計画等の目標値は、総合計画に合わせる。	①観光ボランティア案内件数	○	△
66			(342)観光客誘致の推進	コンベンション数	1年間に高松エリアで開催されたコンベンション数	件	225	270	306	↗	4年間で約20%のコンベンション数の増加を目指す。	高松観光コンベンション・ビューロー報告	②観光ホームページのアクセス件数 ③コンベンション参加者数	○	
67	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	国際・国内交流の推進と定住の促進	(351)国際交流・国内交流の推進	姉妹・友好都市等との交流事業参加者数	姉妹・友好都市等との交流事業に参加した人数	人	299	350	400	↗	5年ごとに15パーセント程度の増加を目標とする	なし	財団法人高松市国際交流協会の国際交流ボランティア登録者数		

第6次高松市総合計画(仮称)における成果指標(案)

NO	まちづくりの目標	政策名	施策名	成果指標名	指標の説明	単位	現況値	目標値(H31)	目標値(H35)	目標の方向性	目標値設定の考え方	指標の出典等(分野別計画等)	第5次成果指標案	総合戦略	同じ○ 変更△
68			(351)国際交流・国内交流の推進	国内の提携都市との交流事業参加者数	国内の提携都市との交流事業に参加した人数	人	307	350	400	↗	5年ごとに15パーセント程度の増加を目標とする	なし			
69		国際・国内交流の推進と定住の促進	(352)移住・交流の促進	高松市移住ナビ(ホームページ)閲覧件数	高松市移住ナビのホームページ閲覧件数	件	9,629	13,000	16,000	↗	毎年1000件の増加を目指す。	なし		○	
70	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち		(352)移住・交流の促進	移住交流フェア参加組数	東京等で開催される移住交流フェアにおいて高松市のブースに来た組数	組	19	45	65	↗	毎年、東京会場等参加の過去3年間の平均(4.6≒5組)の増を目指す。	なし			
71			(411)消防・救急の充実強化	住宅火災出火率	人口1万人当たりの出火率	%	3.80	3.70	3.60	↘	全国の出火率の平均が3.70%であることから、全国平均を下回ることを目標とする。	消防白書	住宅火災件数		△
72	安全で安心して暮らし続けられるまち	安全で安心して暮らせる社会環境の形成	(411)消防・救急の充実強化	救命率	心肺機能停止傷病者が社会復帰した割合(暦年)	%	5.1	6.0	8.0	↗	消防白書の心肺機能停止傷病者の救命率等のデータにある全国の社会復帰率を目標に、少しでも全国平均に近づけることを目標とした。	消防白書	心肺機能が停止していた人に対して応急処置を実施した率	○	
73			(412)防災・減災対策の充実	地域における防災訓練の実施率	防災訓練を実施したことがある地域の割合	%	47.7	80	100	↗	全てのコミュニティ協議会が防災訓練を実施する。	地域防災計画	①自主防災組織の組織率 ②自主防災組織の活動カバー率【H24設定】	○	
74	安全で安心して暮らし続けられるまち	安全で安心して暮らせる社会環境の形成	(413)交通安全対策の充実	交通事故発生件数	高松市内の交通事故発生件数	件	4,705	4,234	3,764	↘	H35年に現在値(過去3年(H24・25・26年の平均4,705件)から20%減(3,764件)減とする。毎年(年次)	交通事故の概況 香川県警察本部交通部	交通事故発生件数		○
75			(413)交通安全対策の充実	人口10万人当たりの交通事故による死者数	県警交通事故統計資料による(市町別交通事故発生状況)	人	3.80	3.33	3.23	↘	10万人当たり交通事故死者数を(基準年の)全国平均以下にする。毎年(年次)	交通事故の概況 香川県警察本部交通部	交通安全教室の参加者数		

第6次高松市総合計画(仮称)における成果指標(案)

NO	まちづくりの目標	政策名	施策名	成果指標名	指標の説明	単位	現況値	目標値(H31)	目標値(H35)	目標の方向性	目標値設定の考え方	指標の出典等(分野別計画等)	第5次成果指標案	総合戦略	同じ○ 変更△
76	安全で安心して暮らし続けられるまち	安全で安心して暮らせる社会環境の形成	(414)防犯体制の整備	市内における1,000人当たりの街頭犯罪等発生件数	高松市人口1,000人当たりの街頭犯罪発生件数	件	4.2	4.1	4.0	↓	H35年に人口千人当たり4件以下を目指す。毎年(年次)	刑法犯罪認知状況ほか	地域の防犯パトロール車に設置する青色回転灯の数		
77	安全で安心して暮らし続けられるまち	安全で安心して暮らせる社会環境の形成	(415)生活衛生の向上	食品衛生等違反指導率	立入監視を行った施設のうち違反等指導を受けた施設の割合	%	1.2	1.1	1.0	↓	平成26年度実績に対して、違反施設数15%減少を目指す	なし	①食中毒発生件数 ②食品に関する苦情件数		
78			(415)生活衛生の向上	犬・猫の殺処分率	引き取った犬・猫のうち、引き取り手がなく殺処分された犬・猫の割合	%	86.0	78.0	72.0	↓	過去5年間(H22~26年度)の平均減少率から算定。動物愛護センター等が整備後目標値の再検討予定	なし			
79	安全で安心して暮らし続けられるまち	安全で安心して暮らせる社会環境の形成	(416)消費者の権利保護と自立促進	消費生活相談における解決割合	消費生活センターへの相談のうち、解決に導けた件数(他機関への誘導を含む)の割合	%	99.1	99.3	99.5	↑	消費者(相談者)の自力解決力を高めながらの解決率向上を目指す。	なし	架空請求に関する相談件数		
80	安全で安心して暮らし続けられるまち	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	(421)ごみの減量と再資源化の推進	1人1日当たりのごみ排出量(g/人・日)	平成26年4月1日現在の収集人口419,011人で試算	g	970	928	887	↓	高松市一般廃棄物処理基本計画(H20.4~H30.3 H26,4改定)のごみの排出量の推計値から算定 ごみ排出量/人口	高松市一般廃棄物処理基本計画(H20.4~H30.3 H26,4改定)	ごみ排出量		○
81			(421)ごみの減量と再資源化の推進	1人1日当たりの資源化量(g/人・日)	平成26年4月現在の収集人口419,011人で試算	g	207	207	207	↓	紙類の発行部数の減少や、ペットボトル等の軽量化などにより、資源化量は減少しているが、小型家電等のリサイクルやスラグの有効利用などにより、現状を維持していきたい。	なし	再生利用量		○
82	安全で安心して暮らし続けられるまち	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	(422)廃棄物の適正処理	一般廃棄物の年間埋立処分量	一般廃棄物の年間埋立処分量	t	13,236	12,120	11,270	↓	本市の一般廃棄物処理基本計画に掲げる目標値を基準とし、現状と第6次高松市総合計画の人口推計を参考に算定した。	・高松市一般廃棄物処理基本計画 ・一般廃棄物処理実態調査(環境省)	最終処分量		○
83			(422)廃棄物の適正処理	産業廃棄物の不適正保管量	産業廃棄物の不適正保管量	t	12,372	12,150	12,000	↓	過去7年間(平成20~26年度)の平均値と平成26年度の現状値を比較し、低い数値である、平成26年度の数値以下を目標とする。	環境基本計画の中の「不適正な保管等の量」を指標とした。	不適正な保管等の量		○

第6次高松市総合計画(仮称)における成果指標(案)

NO	まちづくりの目標	政策名	施策名	成果指標名	指標の説明	単位	現況値	目標値(H31)	目標値(H35)	目標の方向性	目標値設定の考え方	指標の出典等(分野別計画等)	第5次成果指標案	総合戦略	同じ○ 変更△
84	安全で安心して暮らし続けられるまち	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	(423)不法投棄の防止	不法投棄通報、相談件数	不法投棄通報、相談件数	件	150	100	100	↓	相談件数が減少することにより、不法投棄が減少していった。	不法投棄撲滅の施策ため			
85			(423)不法投棄の防止	不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦の参加者数	地区一斉清掃及びボランティア清掃の参加者数	人	155,438	160,000	160,000	↑	クリーン作戦の参加人数を増やすことにより、市民への環境に対する意識向上や環境啓発となるため。	不法投棄撲滅の施策ため	不法投棄撲滅クリーン作戦の参加者数		○
86	安全で安心して暮らし続けられるまち	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	(424)地球温暖化対策の推進	市有施設における再生可能エネルギー発電設備の発電出力	市有施設における再生可能エネルギー発電設備の発電出力	kW	3,068	4,940	5,060	↑	各課の再生可能エネルギー発電設備設置予定を基に算出した。	地球温暖化対策実行計画進捗管理における基礎資料(各課照会)より集計			
87			(424)地球温暖化対策の推進	地球温暖化防止のための取組の実施率	家庭における地球温暖化防止のための取組の実施率(アンケート結果)	%	32.6	46.4	57.4	↑	家庭における地球温暖化防止のための取組を13項目設定し、国の各種目標値等を参考にそれぞれの項目で目標値を算出し、その平均値を目標値とする。	地球温暖化対策に関する市民実態調査			
88	安全で安心して暮らし続けられるまち	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	(425)環境保全活動の推進	環境学習参加者数	南部クリーンセンターの施設見学者数及び南部クリーンセンター、まなびCAN、環境保全推進課の行う環境学習事業の参加者数	人	5,612	5,800	6,200	↑	環境学習参加者は年度により大きくばらつきがあるため、保全、南部、まなびCANの合計参加者数の過去4年間の平均値を基礎数値とする。基礎数値に対し、毎年2%増加を見込む H31=2%×5年=10% H35=2%×9年=18% 基礎数値に増加率、人口減少率を乗じて見込む	高松市環境基本計画の環境指標	本市域の温室効果ガス排出量		
89	安全で安心して暮らし続けられるまち	豊かな暮らしを支える生活環境の向上	(431)居住環境の整備	建築物等の完了検査済証交付率	建築確認済証を交付した建築物等のうち、竣工後に完了検査済証を交付した割合	%	83.3	100.0	100.0	↑	建築基準法に基づいて設定。ただし、年度単位の指標であり、年度をまたぐ案件については翌年度で計測する。	建築行政年報	①完了検査済証交付件数【H23設定】 ②開発行為の許可件数【H23設定】 ③市営住宅の戸数【H23設定】		○

第6次高松市総合計画(仮称)における成果指標(案)

NO	まちづくりの目標	政策名	施策名	成果指標名	指標の説明	単位	現況値	目標値(H31)	目標値(H35)	目標の方向性	目標値設定の考え方	指標の出典等(分野別計画等)	第5次成果指標案	総合戦略	同じ○ 変更△
90			(431)居住環境の整備	老朽危険空家除去支援件数	老朽危険空家除去支援制度利用により除去した空家数	件	0	40	85	↗	制度利用が行われた空家数を累計するものとして設定。所有者の自発的な維持管理を基本とし、老朽危険空家と認定したものに対して支援を実施する。 H28～H34：毎年10件支援 H35：15件支援の予定で目標値設定	制度利用の実績 ※計画等への登載はなし		○	
91	安全で安心して暮らし続けられるまち	豊かな暮らしを支える生活環境の向上	(432)身近な道路環境の整備	市道改良延長	50m以上連続した幅員4m以上の区間を有する市道	km	1,489	1,507	1,519	↗	実績をもとに、年間3kmの増	なし	市道改良率(50m以上連続した幅員4m以上の区間を有する市道)		○
92	安全で安心して暮らし続けられるまち	豊かな暮らしを支える生活環境の向上	(433)河川・港湾の整備	治水施設の不具合による浸水発生件数	浸水が発生した件数	件	0	0	0	→	治水施設の不具合による浸水発生は起こさないとする。	なし	浸水(床上下)棟数		
93			(433)河川・港湾の整備	津波・高潮対策施設の整備率(%)	整備計画延長における整備済延長の比率	%	0	22	100	↗	○第6次総合計画(整備工事は、H29～H35の7年間)目標値(H31) 840m 21%(各年280mを目標として3年分)目標値(H35) 3160m 79%(各年790mを目標として4年分)計 4000m 100%(平成36年度(787m)は除く) <参考>地震・津波対策海岸堤防等整備計画 I期前期 839m(H27～H31) I期後期 3048m(H31～)	「香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画(第I期 平成27年度から平成36年度10年間)」に基づく津波・高潮対策施設の整備を県と連携して推進していくとしていることから。	防潮堤整備による浸水(床上下)棟数の解消【H24設定】		
94	安全で安心して暮らし続けられるまち	豊かな暮らしを支える生活環境の向上	(434)みどりの保全・創造	市民1人当たり都市公園等の面積	市民1人当たりの都市公園等の面積	m <sup>2</sup>	8.14	9.16	9.28		第2次高松市緑の基本計画の実施計画に基づき、現状値と計画期間内の供用予定面積から算定	第2次高松市緑の基本計画	①市民一人当たり都市公園等の面積 ②公園愛護会の団体数	○	○
95	安全で安心して暮らし続けられるまち	豊かな暮らしを支える生活環境の向上	(435)水の安定供給	自己処理水比率	全配水量に対する自己処理水配水量の割合	%	43.7	45.3	50	↗	水道水の安定給水を図るため、近年、濁水が頻繁化し取水制限が繰り返されている早明浦ダムを水源とする香川県水道用水供給事業からの受水量を年々減らしていき、自己処理水源の比率を50%にする目的である。H35は、桜川ダム(H32)完成を視野に入れて目標値を設定している。	上下水道事業基本計画 水環境基本計画実施計画	自己処理水比率		○

第6次高松市総合計画(仮称)における成果指標(案)

NO	まちづくりの目標	政策名	施策名	成果指標名	指標の説明	単位	現況値	目標値(H31)	目標値(H35)	目標の方向性	目標値設定の考え方	指標の出典等(分野別計画等)	第5次成果指標案	総合戦略	同じ○ 変更△
96			(435)水の安定供給	基幹管路の耐震化適合率	基幹管路総延長に対する耐震・準耐震管延長の割合	%	37.5	39.9	42.6		平成42年度を目標とする水道施設耐震化計画に基づき事業を進めており、総基幹管路延長における基幹管路の耐震化適合率。	上下水道事業基本計画 水環境基本計画実施計画 水道統計 (9/9調査結果(ネット等から)) ・基幹管路：全国的に統一された表現 導水管、送水管、配水 本管からなる 「導水管」：河川→(貯水池) →浄水場 「送水管」：浄水場→配水場 「配水本管」：配水場→配水管	水質苦情件数		
97			(435)水の安定供給	1人1日当たり水道平均使用水量	給水人口1人1日当たりの水道平均使用水量	ℓ	301	300	299	↗	平成26年度は、夏場の低温や大口使用者の使用量減少による特異値とみなし、平成21年度から25年度までの前年比平均-0.2リットルをもとに算出している。(4年ごと：-0.2×4年≒-1リットル) ※上下水道基本計画の見直しに伴い、今後、変更する可能性がある。	上下水道事業基本計画 水環境基本計画実施計画 環境基本計画 水道統計	①再生水利用施設数 ②1人1日当たりの平均水道使用量		○
98	安全で安心して暮らし続けられるまち	豊かな暮らしを支える生活環境の向上	(436)汚水・雨水対策の充実	汚水処理人口普及率	総人口に対する生活排水処理施設整備人口の割合	%	84.9	87.0	88.6	↗	「第4次高松市生活排水対策推進計画(仮称)」に掲げる目標値。ただし、当計画は現在策定中であり、数値を修正する可能性がある。	第4次高松市生活排水対策推進計画(仮称) 高松市上下水道事業基本計画 次期高松市環境基本計画 (9/9調査結果(ネット等から)) ・汚水処理人口普及率 ：全国的に統一された表現 「汚水処理施設の処理人口を、 総人口に対する割合でみた指標」 ※汚水処理施設：下水道、農業集落排水施設、浄	汚水処理人口普及率		○
99			(436)汚水・雨水対策の充実	雨水対策整備率	下水道事業計画区域内において雨水による浸水対策が講じられた面積の割合	%	48.5	49.1	49.6		上下水道基本計画に基づき、浸水対策を行う面積をもとに算出している。 ※上下水道事業基本計画の見直しに伴い、今後、変更する可能性がある。	上下水道基本計画 水環境基本計画実施計画	雨水対策整備済面積		△

第6次高松市総合計画(仮称)における成果指標(案)

NO	まちづくりの目標	政策名	施策名	成果指標名	指標の説明	単位	現況値	目標値(H31)	目標値(H35)	目標の方向性	目標値設定の考え方	指標の出典等(分野別計画等)	第5次成果指標案	総合戦略	同じ○ 変更△
100			(436)汚水・雨水対策の充実	下水道管路耐震化率	管路総延長に対する耐震化延長の割合	%	35.0	37.2	37.8	↗	上下水道基本計画に基づき、管路の新設及び耐震化を行う延長をもとに算出している。 ※上下水道事業基本計画の見直しに伴い、今後、変更する可能性がある。	上下水道基本計画 水環境基本計画実施計画			
101	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	コンパクトで魅力ある都市空間の形成	(511)多核連携型コンパクト・エコシティの推進	用途地域内の人口比率	用途地域内の人口の割合	%	64.3	64.6	65.2	↗	都市計画マスタープラン（H20策定）に掲げる目標増減割合を使用。	本市の人口については登録人口、用途地域内人口については、登録人口から町別に都市計画課で算出。	①太田第2土地区画整理事業区域内の居住人口【H23設定】 ②太田第2土地区画整理事業区域内の宅地化率【H23設定】 ③ことでん仏生山駅の	○	
102			(511)多核連携型コンパクト・エコシティの推進	中心市街地の居住人口の割合	中心市街地活性化エリア内の人口の割合	%	4.8	5.1	5.1	↗	第2期中活計画の目標値（H29）5.1%をH35まで維持するもの 毎年10月1日を基準とする。	第2期高松市中心市街地活性化基本計画	中心市街地内の定住人口		○
103	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	コンパクトで魅力ある都市空間の形成	(512)景観の保全・形成・創出	屋外広告物の適正化率	既存不適格広告物のうち、改修等された件数の割合	%	0	50	90	↗	条例改正後の経過措置期間内（H26～H36）での適正化を目標とする。 （9/9問い合わせ結果） ・現況値「0」は、H26～取組みは行っているため、「-」ではなく「0」 ・市内全域対象。H22実態調査時の件数940件が母数 ・分野別計画等には目標値は設定していない ・H31目標・H35目標ともおよその見込み。特に、H31については、経過措置期間が5年残っているため、50%には届かないと思われるが、当面、説明できる要素もないので、直線的な伸びを想定しての「50%」としている。	分野別計画等での設定なし。	大規模建築物等の届出適合格率【H23設定】		
104	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	快適で人にやさしい都市交通の形成	(521)公共交通の利便性の向上	公共交通機関利用率	本市の人口のうち、公共交通機関利用者数の割合※1公共交通機関利用者数とは、電車及びバスの1日当たりの利用者数である。	%	13.7	15.9	16.5	↗	高松市総合都市交通計画及び公共交通利用促進条例の理念を踏まえた施策の実施により公共交通の利用（利用率）を促進を目指す。	高松市地域公共交通網形成計画 高松市環境基本計画（JR四国、ことでん、ことでんバスからの提供、及び高松市推計人口（毎年1万人）	公共交通機関利用者数	○	○
105	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	快適で人にやさしい都市交通の形成	(522)自転車の利用環境の向上	自転車道等整備済延長（累積）	自転車ネットワーク整備方針に位置付けられた路線の整備延長	km	4.2	12.6	19.0	↗	高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針に位置付けられた路線の整備延長	高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針		○	

第6次高松市総合計画(仮称)における成果指標(案)

NO	まちづくりの目標	政策名	施策名	成果指標名	指標の説明	単位	現況値	目標値(H31)	目標値(H35)	目標の方向性	目標値設定の考え方	指標の出典等(分野別計画等)	第5次成果指標案	総合戦略	同じ○ 変更△
106			(522)自転車の利用環境の向上	レンタサイクル利用者数	年間のレンタサイクルを利用した延べ人数	人	306,580	318,500	328,500	↗	4年後の目標を10,000人増加と見込み、年間2,500人の増加とする。	なし ※分野別計画での目標設定は行っていないが、実績については庁内会議で報告している。	レンタサイクルの利用件数		○
107	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	拠点性を発揮できる都市機能の充実	(531)拠点性を高める交通網の整備と利用促進	高松空港の利用者数	高松空港を離発着する定期航空路線の年間利用者数	万人	173	188	199	↗	H31については、H26の実績と香川県が策定する「次期総合計画」及び「かがわ創生総合戦略」のH32の目標値からH31に割り戻したものを、H35については、H32以降も同様の伸び率(年間3万人、対前年比1.016ずつの増加)で算出。	香川県交通政策課 提供	①国内定期路線数 ②国際定期路線数(季節運行を除く) ③バス利用者数		○
108			(531)拠点性を高める交通網の整備と利用促進	高松港に入港した外国貿易船の年間延べ純トン数	特別とん税の課税基準となる、外国貿易船の純トン数  ※純トン数とは、船舶の総トン数(船舶の総容積)から機関室・船員室など積載貨物・船客に関係のない容積を差し引いたもので、貨客の搭載に利用できる容積をトン単位で表すもの。(出典:	千純トン	929	1,030	1,110	↗	高松港に入港する外国貿易船純トン数の対前年比のうち、直近である平成25年度と26年度の比率(約4%)を基準に、今後その半分(2%)を毎年度の伸び率として目標設定し、H31及びH35について、算定した純トン数を目標値とする。	神戸税関坂出税関支署高松出張所 提供			
109			(531)拠点性を高める交通網の整備と利用促進	市内JR駅の乗降客数	高松市内にあるJR駅での年間乗降客数	千人	6,946	7,702	7,846	↗	高松市総合都市交通計画及び公共交通利用促進条例の理念を踏まえた施策の実施により公共交通の利用(利用率)を促進を目指す。	JR四国 提供			○
110	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	拠点性を発揮できる都市機能の充実	(532)拠点性を高める道路ネットワークの整備	都市計画道路整備率	都市計画道路の計画延長ベースでの整備進捗率	%	88.8	89.7	89.9	↗	計画期間内の事業計画を基に設定				
111	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	拠点性を発揮できる都市機能の充実	(533)中心市街地の活性化	中央商店街の空き店舗率	中央商店街における店舗のうち、空き店舗が占める割合	%	17.2	14.9	14.9	↗	中心市街地活性化基本計画に掲げる目標値	中心市街地活性化基本計画	中央通り沿いオフィスの空室率		
112			(533)中心市街地の活性化	中央商店街の歩行者通行量	中央商店街の歩行者通行量(休日、15地点)	人	118,731	141,000	141,000	↗	第2期中活計画の目標値(H29)141,000人をH35まで維持するもの 毎年5月、10月(年2回)	第2期高松市中心市街地活性化基本計画	中心市街地(中央商店街)の歩行者通行量(休日)	○	○
113			(533)中心市街地の活性化	中心市街地の居住人口の割合	中心市街地活性化エリア内の人口の割合	%	4.8	5.1	5.1	↗	第2期中活計画の目標値(H29)5.1%をH35まで維持するもの 毎年10月1日	第2期高松市中心市街地活性化基本計画	中心市街地内の定住人口		○

第6次高松市総合計画(仮称)における成果指標(案)

NO	まちづくりの目標	政策名	施策名	成果指標名	指標の説明	単位	現況値	目標値(H31)	目標値(H35)	目標の方向性	目標値設定の考え方	指標の出典等(分野別計画等)	第5次成果指標案	総合戦略	同じ○ 変更△
114	市民と行政がともに力を発揮できるまち	参画・協働によるコミュニティの再生	(611)地域コミュニティの自立・活性化	自治会加入率	自治会加入世帯の割合	%	62.4	62.4	62.4	→	低下し続ける加入率の下げ止まりを目標とする。	なし	地域コミュニティ人材養成事業参加者数		
115			(611)地域コミュニティの自立・活性化	コミュニティプランの見直し率	コミュニティプランを見直したコミュニティの割合	%	54.5	100	100	↗	現状24コミ協で見直し済。毎年5コミ協で見直し、H31で全コミ協見直しを目指す	なし ※コミュニティプランの見直し状況で、地域コミュニティの活性化の状況を測る。		○	
116	市民と行政がともに力を発揮できるまち	参画・協働によるコミュニティの再生	(612)参画・協働の推進	協働事業数	市民活動団体等との協働事業数	件	128	135	150	↗	年間2～3件増を目標値設定とし、協働事業としての内容の充実を図ることとする。	「高松市協働のまちづくり推進ガイド」作成基礎資料	NPOとの協働事業数		○
117			(612)参画・協働の推進	市政出前ふれあいトーク延べ参加者数	市政出前ふれあいトーク延べ参加者数	人	20,724	21,000	21,200	↗	平成26年度と同水準を保つことを目指す	市長マニフェスト成果指標	市政出前ふれあいの延べ参加人数		○
118	市民と行政がともに力を発揮できるまち	参画・協働によるコミュニティの再生	(613)離島の振興	各島への年間来島者数	女木・男木・大島への来島者数 本市調べ(航路事業者及び大島青松園から)	人	189,667	190,000	194,000	↗	人口が減少する中で、交流人口が微増又は、維持することを目指す。	なし 離島振興計画には実績報告がある		○	
119			(613)離島の振興	イベント参加者数	大島で行われる、講演会、学習交流、アーティスト・イン・レジデンスの参加者数	人	2,573 (暫定値)	2,600	2,650	↗	人口が減少する中で、継続実施を目標とする	大島振興方策(事業計画のみで目標値の設定はない)			
120	市民と行政がともに力を発揮できるまち	相互の特長を生かした多様な連携の推進	(621)連携の推進	連携中核都市圏での生活関連機能サービス等連携事業数	圏域における生活関連機能サービスの向上に関する連携事業数	事業	45	50	55	↗	現在の定住自立圏における取組を継続しつつ、圏域内住民サービスの更なる向上を目指すため、毎年1～2事業程度の取組の拡充を目指すもの。	現在の定住自立圏において取り組んでいる事業数		○	
121			(621)連携の推進	大学等との連携・協力事業数	庁内照会により把握した大学等と高松市の連携・協力事業数	事業	73	85	100	↗	毎年3事業ずつ増加を見込む	なし	大学と連携して行う事業数		○
122	市民と行政がともに力を発揮できるまち	健全で信頼される行財政運営の確立	(631)職員力の向上	業務に関するコンプライアンスを理解している職員の割合	コンプライアンスに関する職員意識調査の設問の回答	%	22.9	100	100		「コンプライアンス推進施策」等の実施により、早期に職員の意識改革を行う必要がある。 同内容の「市長マニフェスト2015」の達成指標では、H30年度で100%を目標値としている。	なし	さわやかサービスの推進(市民アンケートの満足度)		
123			(631)職員力の向上	昇任試験受験率	昇任試験受験資格があるものが試験を受験した割合	%	19.3	26.0	30.0	↗	まち戦略で掲げる長期目標値を30%に設定し、H25から年間1%ずつの上昇を目指す。	なし			

第6次高松市総合計画(仮称)における成果指標(案)

NO	まちづくりの目標	政策名	施策名	成果指標名	指標の説明	単位	現況値	目標値(H31)	目標値(H35)	目標の方向性	目標値設定の考え方	指標の出典等(分野別計画等)	第5次成果指標案	総合戦略	同じ○ 変更△
124			(631)職員力の向上	職員数の目標値の達成率	職員数(H28/4/1現在)を目標値とし、その達成率を成果指標とする。(職員数が目標を下回れば100%超えとする。)	%	99.3	100	100	↗	市の業務が増加傾向である状況において、これ以上の減員は難しいことから、次期職員数の適正化計画の基準年である平成28年度の職員数を維持することを目標とする。	第4次職員数の適正化計画			
125	市民と行政がともに力を発揮できるまち	健全で信頼される行財政運営の確立	(632)効率的で効果的な行財政運営の推進	行財政改革計画の目標達成度	実績報告に係る達成度について、「達成」及び「おおむね達成」の事業の割合	%	70.8	100	100	↗	行財政改革計画に登載するすべての事業について、「おおむね達成(85%以上)」以上を目指す。	第7次高松市行財政改革計画(仮称)	①ウルトラブロードバンド(上り20Mbps程度以上)の世帯カバー率 ②視聴可能エリアカバー率	○	
126			(632)効率的で効果的な行財政運営の推進	経常収支比率4年間の理由(収支見通しは、8年間。)	経常的な収入を毎年度必要となる経常的・義務的な経費に使っている割合	%	87.3	90.0	※90.0		※別に策定する高松市行財政改革計画(平成32年度～35年度)において設定する値	次期高松市行財政改革計画	市債残高		
127			(632)効率的で効果的な行財政運営の推進	実質公債費比率4年間の理由(収支見通しは、8年間。)	経常的な収入を実質的な借入金支払(公債費や公営企業繰出金など)に充てている割合	%	9.2	10.0	※10.0		※別に策定する高松市行財政改革計画(平成32年度～36年度)において設定する値	次期高松市行財政改革計画	財政調整基金残高		

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	第2回高松市総合計画審議会
日 時	平成27年9月25日(金) 19時25分～20時35分
開催場所	高松市役所 13階 大会議室
議 題	(1) 第6次高松市総合計画(仮称)基本構想(案)について (2) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員 (20名)	佃会長、野田副会長、上田委員、上原委員、国見委員、 桑井委員、坂口委員、鈴木委員、高嶋委員、滝川委員、 竹内委員、徳倉委員、中橋委員、西岡委員、花澤委員、 原委員、古川委員、眞鍋委員、柳委員、頼富委員
傍 聴 者	3人 (定員10人)
担当課及び連絡先	政策課 839-2135

## 会議の経過及び結果

## (1) 第6次高松市総合計画(仮称)基本構想(案)について

委員にまちづくりの目標ごとにグループに分かれてもらい、まちづくりの目標の実現に向けて、政策や施策の方向性について、整合が図られているか、効果的な取組となっているか等、各委員の立場からの意見を出してもらい、グループで整理してもらった。

## 【グループ1 まちづくりの目標1】

- ・子どもと高齢者、障がい者など、それぞれの人たちの力が十分に発揮できるまちづくりを目指す必要がある。
- ・そのためには、地域や居場所、人をコーディネートする人材の育成が大切である。
- ・健康福祉、教育全般を担当する組織づくりが必要である。
- ・さまざまな主体のネットワークづくりが必要である。

## 【グループ2 まちづくりの目標2】

- ・男女共同参画が筆頭にくる理由が明確になれば、目標や政策などが見えてくる。位置づけの理由を分かるようにすべきである。
- ・家庭、地域の教育力の充実が大切であり、子供会の充実に取り組む必要がある。
- ・生涯学習の充実について、女性の就業率の上昇などもあり、リカレント教育、生涯学習の必要性を明確にすべきである。

## 【グループ3 まちづくりの目標3】

- ・自然が近いという高松の魅力を生かす、また、家族で楽しむスポーツの充実を考えると、「レクリエーション」を施策として出す必要がある。

## 会議の経過及び結果

- ・国際交流について、姉妹都市との交流も大事だが、高松市の国際化を目指す内容にすべきである。
- ・政策「国際・国内交流の推進と定住の促進」の施策として、「国際・国内交流の推進」と「移住・交流の促進」がぶら下がっているが、内容が異なるものであるので、施策に合わせ政策を設けるべきである。
- ・「国際・国内交流の推進」の成果指標に、高松空港の利用者数が良いのではないか。
- ・海外マーケットについての施策を考えるべきである。地元産品を売り込むため、人材教育や人材のマッチングが必要である。ジャパンエクスポでの経験を生かすべきである。
- ・新しいビジネスを生み出す取組が必要である。企業誘致も必要だが、若い人の創業・起業支援や文化・芸術関係のビジネス化、既存の資源を複合的に有効活用することも必要である。

## 【グループ4 まちづくりの目標4】

- ・救急車の適正利用に向けたPR、啓発、病院との連携が必要である。
- ・市民の安全を守るため、県・市・市民の連携を深めることや、歩車分離など、最近の情勢を反映した交通安全対策を進めるべきである。
- ・犬猫殺処分について、ワーストから脱却する意思が感じられない。
- ・環境について、リユースを進めることで廃棄物の減量や再生エネルギーの推進による循環型社会の形成に努めるべきである。
- ・道路、河川、水道等のインフラについては、県と連携しながら過不足なく整備する必要がある。

## 【グループ5 まちづくりの目標5】

- ・コンパクトシティを標榜しているが、現実には、郊外の宅地化が進行している。空き家の存在も目立つようになっており、開発の規制、誘導が必要である。
- ・高齢化の進展を見据え、インフラや公共交通機関の駅などが近接したまちづくり、電動車いすの使いやすさなどが必要である。

## 【グループ6 まちづくりの目標6】

- ・コミュニティ形成について、モデル地域を作り、成功事例とすることで、コミュニティの在り方や必要性、良さを他に浸透させることが必要である。中心となる人材の育成、他での先進事例を参考にすることも必要である。
- ・地域づくりの主役は市民であり、行政は裏方である。市の支援を前提としない取組を進める必要がある。職員が地域とのかかわりを持ち、地域に浸透することで、相互の理解が進む。
- ・コミュニティづくりは小さな成功を積み重ね、地道に進めていくことが必要。
- ・離島の振興をまちづくり目標6に位置付けることは適切だろうか。

会議の経過及び結果

(2) その他

(事務局)

次回(第3回会議)は、10月10日(土)に開催し、今回、検討いただいた内容を事務局で整理して、次回審議会に、答申(案)として、提示したい。

(閉会)

第6次高松市総合計画（仮称）についての御意見等記載用紙

委員氏名

--

御意見等がある場合、欠席時はあらかじめ、又は会議開催後1週間以内に御提出ください。

送付先 〒760-8571 高松市番町一丁目8番15号 高松市役所・政策課（審議会・懇談会担当） TEL 839-2135 FAX 839-2125 メールアドレス seisaku@city.takamatsu.lg.jp
--

## たかまつ創生総合戦略（仮称）についての御意見等記載用紙

## 委員氏名

ページ	項目等	御意見等の内容

御意見等がある場合、欠席時はあらかじめ、又は会議開催後1週間以内に御提出ください。

送付先 〒760-8571 高松市番町一丁目8番15号  
高松市役所・政策課（審議会・懇談会担当）  
TEL 839-2135 FAX 839-2125  
メールアドレス seisaku@city.takamatsu.lg.jp

## 第3回高松市総合計画審議会の流れ（予定）

日時：平成27年10月10日（土） 午後6時30分～

場所：市役所13階 大会議室

### 1 開会

### 2 議題

(1) 第6次高松市総合計画（仮称）基本構想答申（案）について（110分）

- ・ 事務局説明（5分）
- ・ 「まちづくりの目標1～6」検討（60分）

※ 第2回審議会で検討を担当したグループの委員の方から、先に御意見を頂き、その後、委員の皆様から御意見を頂くこととします。

【まちづくりの目標1 桑井委員、高嶋委員、西岡委員】

【まちづくりの目標2 上原委員、竹内委員、徳倉委員、（佃会長）】

【まちづくりの目標3 野田副会長、原委員、眞鍋委員(欠)、頼富委員】

【まちづくりの目標4 鈴木委員(欠)、中橋委員、花澤委員】

【まちづくりの目標5 上田委員、古川委員、柳委員】

【まちづくりの目標6 国見委員、坂口委員(欠)、滝川委員】

- ・ 「総括」検討（20分）
- ・ 「答申素案」検討（25分）

(2) その他（10分）

### 3 閉会